

# 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 106 株式会社サキノ精機

記入日 2023年(令和5年)5月22日

1. 2030年までに達成したいこと	2030年までに、ゴミの排出ゼロを目指した環境に良い海苔漁業の実現と、高齢化する海苔漁師の職場環境改善を目指し、明石市の自慢でもある「海苔」がより未来へ輝ける持続可能な事業にします。	3. 関連するゴール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2. 取組の概要	FRP(※)ハコブネをアルミに変え、環境に良く、より働きやすい環境づくり ※FRP=繊維強化プラスチック		10	11	12	13	14	15	16	17	18
			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

4. 主な取組の達成状況								
No.	取組内容	①目標値		②当初値		③実績値		達成度
		2030年度	2020年度	2022年度	2023年度			
(1)	・FRPよりも強固なアルミ材を使うことで、壊れないハコブネを作る。 ・アルミ材はリサイクル可能でゴミにならない。 ・水を吸わないアルミが高齢化する漁師の作業負担の軽減。(参考重量:アルミ100kg、FRP120kg)	アルミ素材のハコブネ使用率	100 %	0 %	1.3 %		1%	
(2)							#DIV/0!	
(3)							#DIV/0!	

5. 取組結果	現在、作業者の体格や作業方法をヒアリングしセミオーダーメイドでハコブネを作っています。また、アルミの腐食防止として環境にやさしい塗料を、先進的に海苔漁を行っている有明に視察し、独自ルートで入手しました。より、長持ちするアルミハコブネを作ることに成功しました。	問合せ先	団体名：株式会社サキノ精機 電話：090-4768-2267 メール：yuki@sakino.co.jp 担当者：崎野 雄生
---------	---	------	---

6. 今後の課題と取組	・アルミハコブネの認知度がまだまだ低いことが現状です。また、材料の高騰による価格UPが今後の課題となります。 ・FRPを加工する企業や作業者の減少により、FRP船の廃棄が増える可能性があります。	連携希望	アルミハコブネを導入するための、助成金等があればもっと広がると考えます。
-------------	--	------	--------------------------------------